

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号
特開2023-9319
(P2023-9319A)

(43)公開日 令和5年1月20日(2023.1.20)

(51)Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 M 37/00 (2006.01)	A 6 1 M 37/00	4 C 0 7 6
A 6 1 K 45/00 (2006.01)	A 6 1 K 45/00	4 C 0 8 4
A 6 1 P 37/06 (2006.01)	A 6 1 P 37/06	4 C 2 6 7
A 6 1 P 29/00 (2006.01)	A 6 1 P 29/00 1 0 1	
A 6 1 P 19/06 (2006.01)	A 6 1 P 19/06	

審査請求 未請求 請求項の数 16 OL (全 17 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2021-112466(P2021-112466)
 (22)出願日 令和3年7月7日(2021.7.7)

特許法第30条第2項適用申請有り (1) 令和3年5月26日領布 大阪商工会議所発行 第1回例会次世代医療システム産業化フォーラム2021 (2) 令和3年5月28日オンライン開催 第1回例会次世代医療システム産業化フォーラム2021

(71)出願人 301023238
 国立研究開発法人物質・材料研究機構
 茨城県つくば市千現一丁目2番地1
 (72)発明者 後藤 真宏
 茨城県つくば市千現一丁目2番地1 国立
 研究開発法人物質・材料研究機構内
 (72)発明者 佐々木 道子
 茨城県つくば市千現一丁目2番地1 国立
 研究開発法人物質・材料研究機構内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】薬剤放出器具

(57)【要約】

【課題】 光を用いた薬剤放出器具を提供すること。

【解決手段】 本発明の薬剤放出器具は、光源部と、光源部からの光が照射される薬剤を備える薬剤供給部とを備え、薬剤供給部は、光源部からの光によって薬剤を放出または射出する。光源部は、レーザまたは発光ダイオードであってもよい。薬剤供給部の光が入射する面は、光を透過する材料からなり、薬剤供給部の薬剤が放出または射出される面は、多孔質材料、高分子材料、繊維集合体、浸透膜および逆浸透膜からなる群から選択される材料からなってもよい。

【選択図】 図1

